

## 平成21年の福岡県鋳工業指数の動向

### 1 概況

(1) 業種別動向（全18業種・主要業種の動向はp.5以降を、全業種の推移はp.14以降を参照）

① 生産

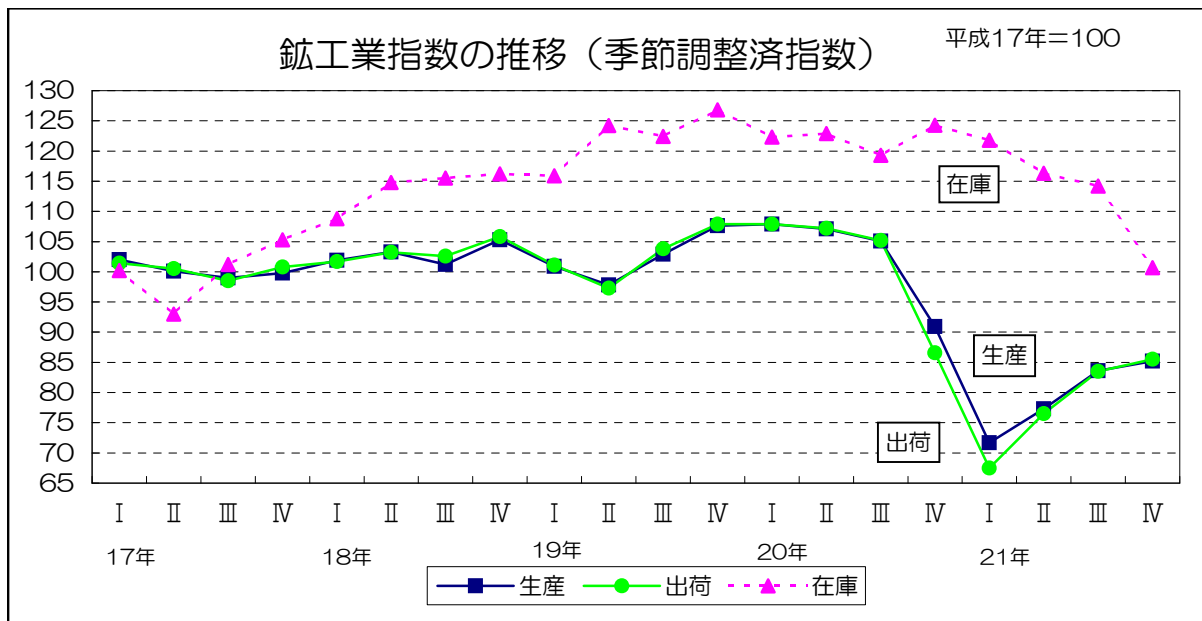
21年の生産指数は79.6で、前年比▲22.5%減と2年ぶりの下落となった。業種別では、輸送機械工業、一般機械工業など18業種全てで下落した。

② 出荷

21年の出荷指数は78.4で、同▲22.8%減と3年連続の下落となった。業種別では、食料品・たばこ工業が上昇したものの、輸送機械工業、鉄鋼業など17業種が下落した。

③ 在庫

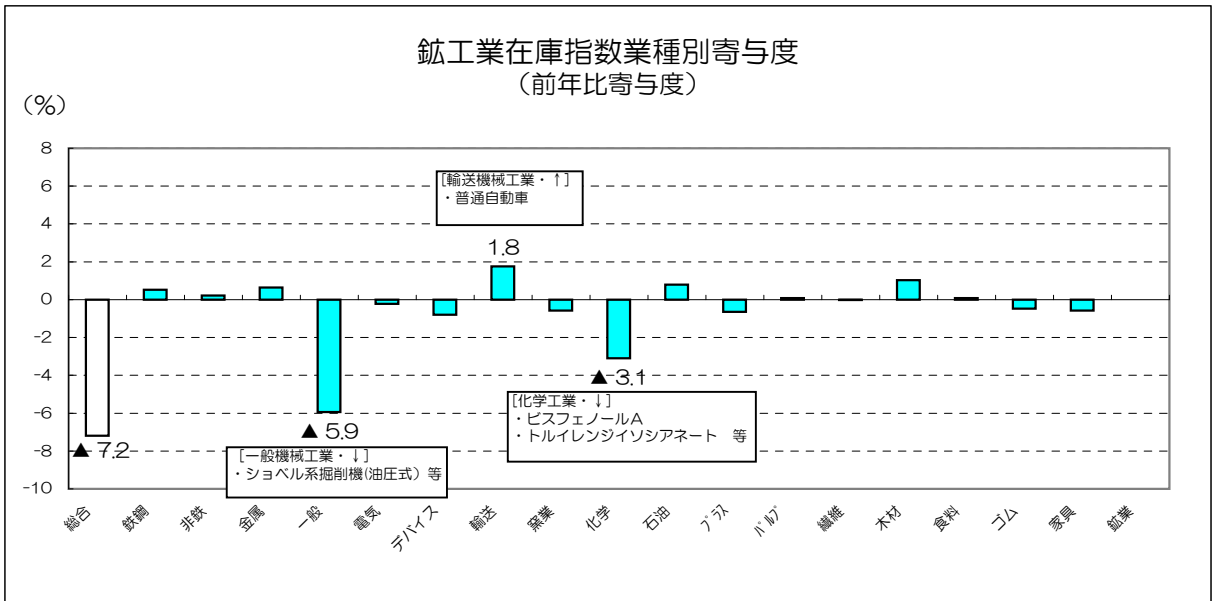
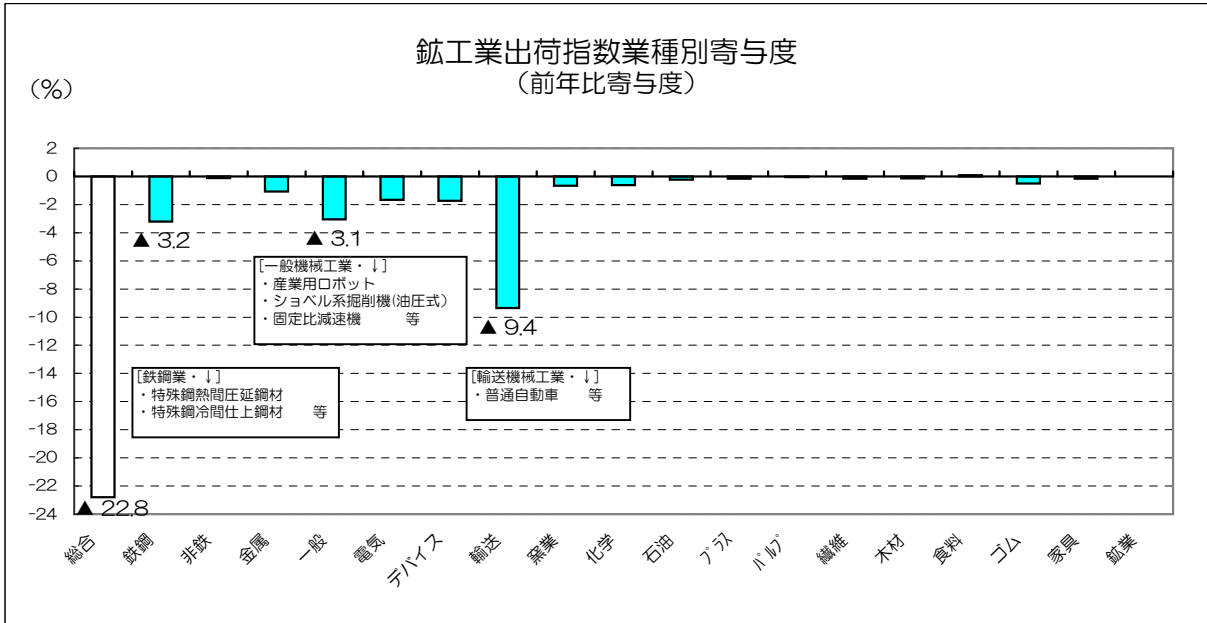
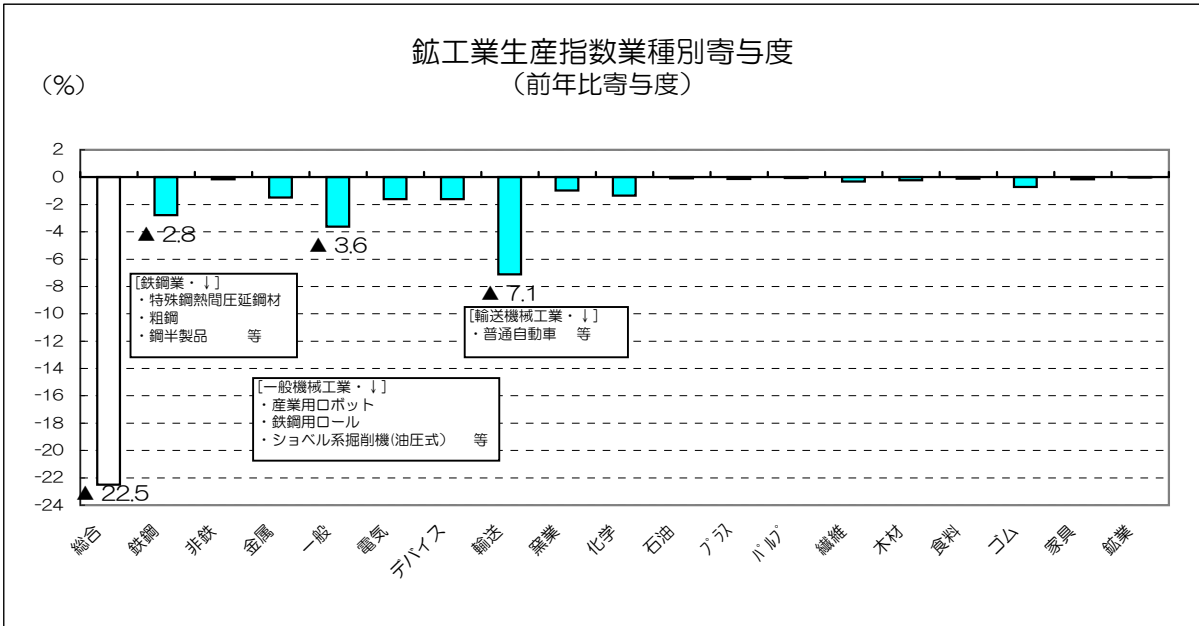
21年の在庫指数は113.3で、同▲7.2%減と2年連続の下落となった。業種別では、輸送機械工業、木材・木製品工業など8業種が上昇したものの、一般機械工業、化学工業など10業種が下落した。



鋳工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	17年	18年	19年	20年	21年	21年				
						I	II	III	IV	
生産	100.0	102.6	102.4	102.7	79.6	71.7	77.3	83.6	85.2	
前期(年)比	—	▲2.3	2.6	▲0.2	0.3	▲22.5	▲21.1	7.8	8.2	1.9
前年同期比	—	—	—	—	—	—	▲35.2	▲28.4	▲19.1	▲4.9
出荷	100.0	103.0	102.7	101.6	78.4	67.5	76.5	83.5	85.5	
前期(年)比	—	▲2.6	3.0	▲0.3	▲1.1	▲22.8	▲22.1	13.3	9.2	2.4
前年同期比	—	—	—	—	—	—	▲39.2	▲29.0	▲18.8	▲0.3
在庫	100.0	113.8	122.3	122.1	113.3	121.8	116.3	114.2	100.7	
前期(年)比	—	1.5	13.8	7.5	▲0.2	▲7.2	▲2.0	▲4.5	▲1.8	▲11.8
前年同期比	—	—	—	—	—	—	▲0.7	▲5.6	▲4.5	▲18.1



※枠内の品目については、各業種の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載

(2) 財別動向（生産・在庫の詳細はp.42以降を参照）

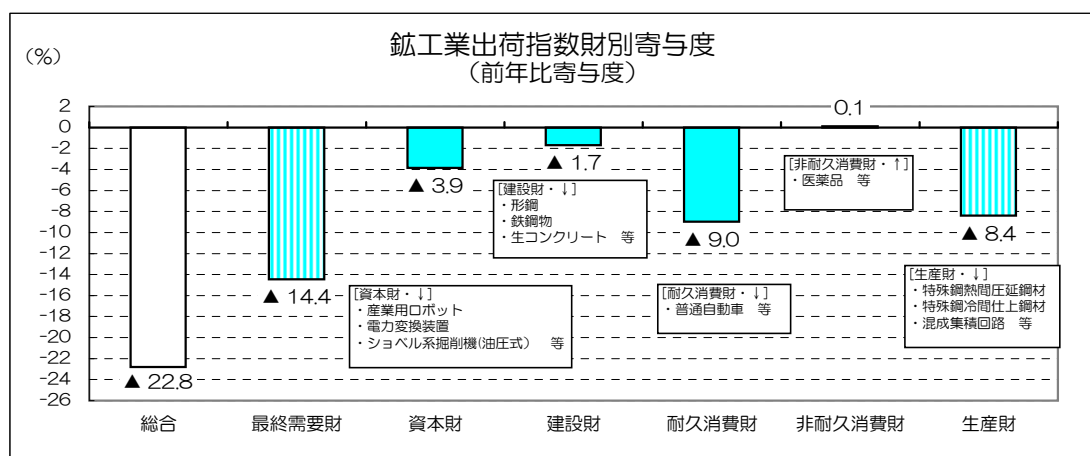
財別（＝用途別）の出荷指数を用いて、耐久消費財、資本財などの財の需要動向や、財の動きを通して最終需要の動きを把握することができる。

- 総合出荷指数は78.4で、前年比▲22.8%減と3年連続の下落となった。最終需要財は同▲22.5%減と2年ぶりの下落となった。生産財は同▲23.4%減と2年連続の下落となった。
- 最終需要財のうち、資本財は、産業用ロボット、電力変換装置、シヨベル系掘削機(油圧式)などが下落したため同▲31.2%減で7年ぶりの下落となった。建設財は、形鋼、鉄構物、生コンクリートなどが下落したため、同▲21.8%減で8年連続の下落となった。
- また、耐久消費財は、普通自動車などが下落したため、同▲31.1%減で4年ぶりの下落となった。非耐久消費財は、医薬品などが上昇したため同0.6%増で2年連続の上昇となった。

鉱工業出荷指数（財別）の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年＝100

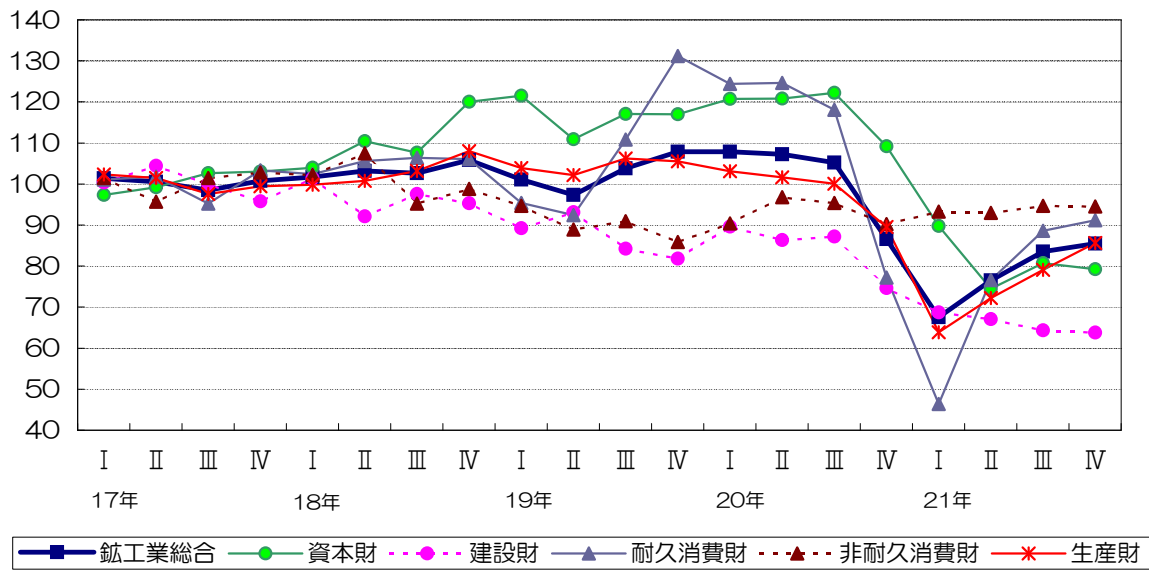
	17年	18年	19年	20年	21年	I	II	III	IV
	鉱工業総合	100.0	103.0	102.7	101.6	78.4	67.5	76.5	83.5
前期（年）比	▲2.6	3.0	▲0.3	▲1.1	▲22.8	▲22.1	13.3	9.2	2.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲39.2	▲29.0	▲18.8	▲0.3
最終需要財	100.0	103.2	101.6	103.4	80.1	69.3	79.5	85.7	86.0
前期（年）比	▲0.1	3.2	▲1.6	1.8	▲22.5	▲19.0	14.7	7.8	0.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲39.1	▲28.1	▲19.1	0.9
投資財	100.0	104.0	102.9	102.5	74.3	80.8	71.3	72.8	71.7
前期（年）比	3.0	4.0	▲1.1	▲0.4	▲27.5	▲13.3	▲11.8	2.1	▲1.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲25.2	▲32.8	▲30.1	▲22.1
資本財	100.0	109.9	116.8	118.4	81.5	89.8	74.5	80.7	79.2
前期（年）比	7.3	9.9	6.3	1.4	▲31.2	▲17.8	▲17.0	8.3	▲1.9
前年同期比	—	—	—	—	—	▲25.7	▲40.7	▲32.1	▲26.9
建設財	100.0	97.2	87.0	84.3	65.9	68.7	67.1	64.3	63.8
前期（年）比	▲1.5	▲2.8	▲10.5	▲3.1	▲21.8	▲7.9	▲2.3	▲4.2	▲0.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲24.2	▲20.6	▲26.8	▲14.9
消費財	100.0	102.8	101.0	103.8	82.8	63.4	83.2	91.6	92.2
前期（年）比	▲1.5	2.8	▲1.8	2.8	▲20.2	▲23.1	31.2	10.1	0.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲45.7	▲26.0	▲14.3	12.3
耐久消費財	100.0	104.4	107.9	110.3	76.0	46.4	76.6	88.6	91.2
前期（年）比	▲1.8	4.4	3.4	2.2	▲31.1	▲39.9	65.1	15.7	2.9
前年同期比	—	—	—	—	—	▲65.3	▲38.3	▲21.3	18.4
非耐久消費財	100.0	100.4	90.0	93.3	93.9	93.3	93.0	94.7	94.5
前期（年）比	▲1.0	0.4	▲10.4	3.7	0.6	3.4	▲0.3	1.8	▲0.2
前年同期比	—	—	—	—	—	3.6	▲2.6	▲1.2	3.3
生産財	100.0	102.6	104.5	98.5	75.5	63.9	72.2	79.1	85.6
前期（年）比	▲6.6	2.6	1.9	▲5.7	▲23.4	▲28.6	13.0	9.6	8.2
前年同期比	—	—	—	—	—	▲39.7	▲30.3	▲18.2	▲2.5



※枠内の品目については、財別の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載

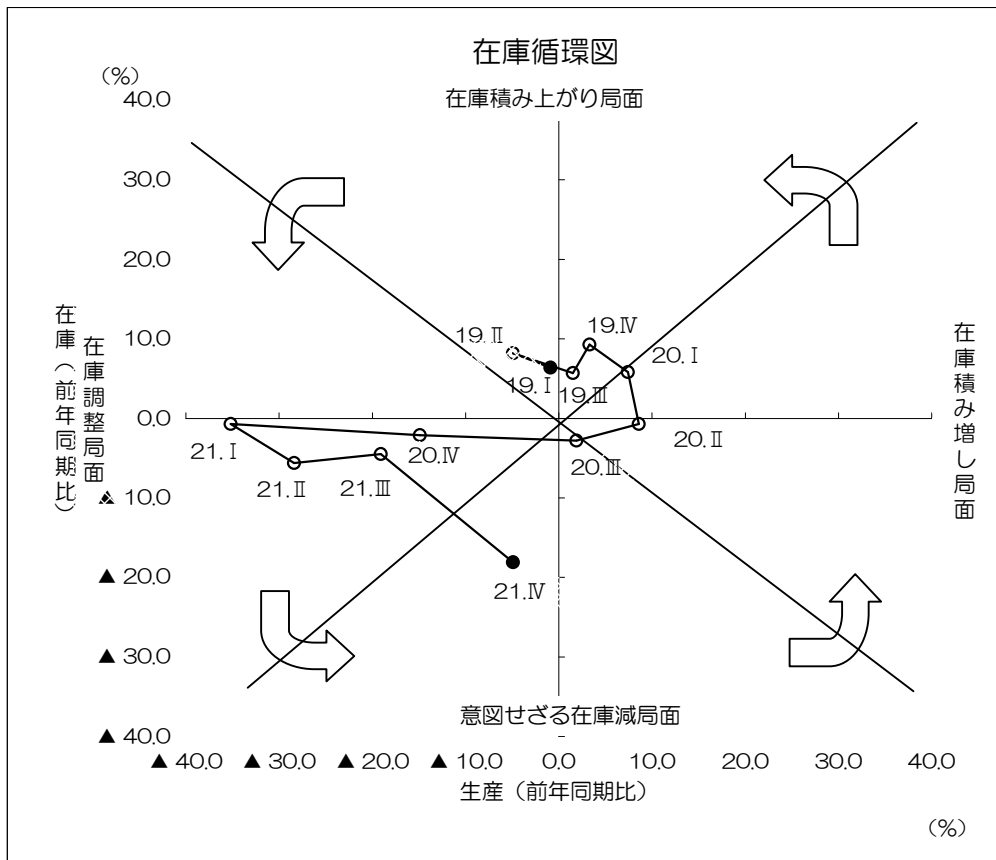
鉱工業出荷指数（財別）の推移（季節調整済指数）

平成17年=100



(3) 在庫循環図

在庫循環状況を見ると、21年は「在庫調整局面」から「意図せざる在庫減局面」へ移行している。



※在庫循環図の見方

横軸に生産、縦軸に在庫の前年同期（期）比をとり、生産と在庫の関係から現状を判断する。一般的に、右斜め上45°より下にあるときは景気の回復期で、上にあるときは後退期と考えられる。